

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	地域情報活用支援事業				事業番号	038-125	
担当部署名	教育委員会事務局	局	中央図書館	部	総務課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ～Children's future～	施策	(4)安心して学べる教育環境の充実		
			有	取組の方向性	⑥生涯学習の推進				
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—				
			無	現状値	—		目標値	—	
	堺市SDGs 未来都市計 画 2021-2025	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに		ターゲット	4.2	
			有	取組	子ども読書活動の推進				
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—				
			無	現状値	—		目標値	—	

2	関連計画	堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン		
3	事業開始年度	平成 18 年度	点検対象年度（堺市基本計画2030）	令和 12 年度
4	実施根拠	社会教育法 図書館法		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁					
6	事業の対象	堺の地域資料・情報に関心のある方				対象数	単位
						804,163	人
7	事業の目的	多様なニーズをもつすべての人が地域資料の情報を活用できるようにすること。 (例) 堺の歴史文化に関心のある方への調査協力、資料提供 行政資料・統計資料等、起業やビジネス、行政関係者の課題解決支援に役立つ資料・情報提供。					
8	事業内容	・図書だけではなく様々な形態の資料や書店等では入手できない行政資料・パンフレット等、散逸しがちな地域資料を収集し、利用者に提供できるよう、年間3千点程度の資料の整備、データ化を進める。 ・所蔵する歴史資料など、貴重資料の保存と、積極的な利用の向上のため、マイクロフィルム化やデジタルアーカイブ構築を進め、インターネットや館内の端末による情報発信を行う。 ・地域の記録を市民と協働でデジタル保存を行い後世に伝える。年に1回、学術研究誌『堺研究』を発行し、堺の歴史・文化に関わる情報を全国に発信する。					
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—					
9	主な支出先	委託業者					
10	公民連携・協働事業	—					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標	単位		実績		目標	目標
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
11 デジタル化したコンテンツの閲覧数	件	目標値	151,385	154,529	200,981	201,040
		実績値	140,481	182,710		
		達成率	93%	118%		
当該指標を選定した理由		デジタル化したコンテンツの周知、利用量と関連するため、デジタルアーカイブ、ホームページコンテンツの閲覧数を指標に選定。				
目標値の設定根拠・算出方法		前年度実績の10%上昇で設定				
活動指標	単位		実績		目標	
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
12 デジタル化・マイクロフィルム化したコンテンツ数	件	目標値	4,071	3,919	2,613	
		実績値	3,563	2,376		
		達成率	88%	61%		
当該指標を選定した理由		デジタルアーカイブの構築のためにはデジタル化が必要なため、新たにデジタル化・マイクロフィルム化した地域資料コンテンツ数を指標に選定				
目標値の設定根拠・算出方法		前年度実績の10%上昇で設定				

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	地域情報活用支援事業	事業番号	038-125
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	2,266	2,495	2,885	2,606	2,885
	財 源					
	国支出金	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他（冊子売払収入）	13	27	13	12	26
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
14	人件費（b）	24,000	23,700	25,800	25,800	27,300
	一般財源	2,253	2,468	2,872	2594	2,859
15	年間経費（c）=(a)+(b)	26,266	26,195	28,685	28,406	30,185

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	決算				R7	決算		
16	地域資料保存処理業務	R7	決算	271	271	謝礼金	R7	決算	346	346
		R8	予算	275	275		R8	予算	358	358
	地域資料マイクロフィルム化業務	R7	決算	199	199	印刷製本費	R7	決算	371	359
		R8	予算	208	208		R8	予算	375	349
	地域資料デジタル化業務	R7	決算	379	379	消耗品費	R7	決算	190	190
		R8	予算	418	418		R8	予算	190	190
	堺独自資料電子書籍化業務	R7	決算	586	586		R7	決算		
		R8	予算	797	797		R8	予算		
	堺市史デジタル化資料一般公開システム使用料	R7	決算	264	264		R7	決算		
		R8	予算	264	264		R8	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

17	区 分		単位	令和6年度	令和7年度
	① デジタル化したコンテンツの閲覧数		回	140,481	182,710
	② 上記①にかかる年間経費		千円	26,177	28,406
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）		円/単位	186	156
	算出についての説明等				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	資料のデジタル化を推進することにより、原資料の利用が抑えられ補修等の保存に関する経費が削減できる。 また、図書館に来館することなく、あらゆる人が資料を活用することができる。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	・令和7年度地域資料受入点数：3,110点 ・令和7年度堺独自資料新規電子書籍化数：123点 堺独自資料電子書籍総数は479点、閲覧数は8,667回。 ・令和8年3月に『堺研究 48号』を発行。 ・郷土資料展「昭和の堺市」（関連資料及び解説パネル展示）を中央図書館で実施。来場者は中央図書館485人。 ・郷土資料展記念講演会「戦時下の堺と建物疎開－『堺市第一次疎開地区記録』はなぜ作成されたのか－」を実施。当日参加者35人。 ・令和7年度貴重資料の利用は、84件248点。
----	--

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	・今後も、地域資料の収集を行うと同時に、デジタル化を進め、積極的な情報発信・情報提供を行っていく。 ・レファレンスについては収集、整理、保存した資料を活用して的確な回答をおこなう一方、レファレンス事例の蓄積による標準化や、職員の専門性の向上をはかり、より質の高いサービス展開をめざす。
	有効性	■ 高い □ 低い	